

敬虔な生活をする

聖書：箴 29:18 前半、23:23、20:27、4:23、10:12 後半、17:9

I. 「ビジョンがない所では、民は勝手に振る舞う」——箴 29:18 前半：

- A. 聖書の中では、「ビジョン」は特殊な光景を指します。それは、特別な種類の見ること、すなわち、栄光に満ちた、内側で見ること指しており、またわたしたちが神から見る霊的な光景も指しています——エゼキエル 1:1、4-28、ダニエル 7:1、9-10、13-14。
- B. わたしたちはビジョンを持つために、啓示、光、視力を必要とします——エペソ 1:17-18 前半。
- C. 天的なビジョンはわたしたちを支配し、わたしたちを制限し、わたしたちを制御し、わたしたちを方向づけ、わたしたちを保護し、わたしたちを徹底的に変革し、わたしたちを真の一の中に保ち、わたしたちに前進する大胆さを与えます——箴 29:18 前半。
- D. わたしたちがこのビジョンを見るとき、わたしたちの内なる存在全体は内側から転換し、わたしたちの思想、観念、態度は変えられます。
- E. 天的なビジョンはわたしたちを動機づけ、わたしたちに活力を与え、わたしたちを支え、わたしたちに忍耐を与え、わたしたちを主の最新の行動の中へともたらし、わたしたちの人生を意義と目的に満ちたものにします——ヘブル 1:8、12:1-2、エペソ 3:11、Ⅱテモテ 1:9、3:10、啓 1:9、3:10。
- F. 主に仕えるあらゆる人は、ビジョンのある人にならなければなりません。内なるビジョンは、わたしたちが主に仕える方法を徹底的に変革します——使徒 26:13-19、ローマ 1:9。
- G. 天的なビジョンの下で、わたしたちは神の目的地へと向かって方向づけられます。また、わたしたちの生活は神のエコノミーにしたがって支配されます——ピリピ 3:13-14、Ⅰテモテ 1:4。
- H. 聖書の中の支配するビジョンは、三一の神がご自身を彼の選ばれ贖われた人の中へと造り込んで、神聖な三一をもって彼らの全存在に浸透し、キリストのからだを生み出し建造し、新エルサレムにおいて究極的に完成するということです——エペソ 4:4-6、啓 21:2、9-10。

II. 「真理を買え、それを売ってはならない」——箴 23:23 前半：

- A. 真理は、買わなければならないもの、代価を払わなければならないものです——箴 23:23 前半：
  - 1. 買うことは、代価を払うことが必要になります。
  - 2. もしわたしたちが主を喜ばせて、真理のために立ちたいなら、代価を払わなければならない——参照、啓 3:18。
  - 3. もしわたしたちの心が準備を整えて、真理の愛を受け入れ、どんな代価を払っても真理を買うなら、わたしたちは祝福されます——Ⅱテサロニケ 2:10-11。

箴 23:23。

B. 神聖な真理は絶対的です。わたしたちは真理のために絶対的になって、真理の絶対性を保持しなければなりません——ヨハネ 14:6. 18:37. IIIヨハネ 3-4, 8 節：

1. 真理のために絶対的であることの意味は、感覚をわきに置くこと、個人的な関係を顧みないこと、自分のためではないことです——マタイ 16:24-25. I ペテロ 1:22。
2. 真理は唯一の標準であり、わたしたちは真理の側に立って、自己に反対しなければなりません。わたしたちが自己から救い出されるときはじめて、真理の絶対性を保持することが可能になります——ヨハネ 8:32. IIヨハネ 2 節. IIIヨハネ 3-4 節。
3. わたしたちは神の真理を尊び、真理の道を歩むべきであり、どんな点においても真理について妥協すべきではありません——IIペテロ 2:2。

C. 神聖なエコノミーの究極的な完成のために、わたしたちは現にある真理のために絶対的になる必要があります——IIペテロ 1:12：

1. 現にある真理は、信者たちと共に現にある真理であり、それは彼らがすでに受けており、今や所有している真理です——12 節。
2. 現にある真理は、以下のものに関する啓示を含んでいます。すなわち、神の永遠のエコノミー（エペソ 1:10. 3:9）、神聖な三一（IIコリント 13:14. 啓 1:4-5）、すべてを含むキリストのパーソンと働き（コロサイ 2:9, 16-17. 3:11）、究極的に完成された命を与える霊（ヨハネ 7:39. Iコリント 15:45 後半. 啓 22:17）、神の永遠の命（ヨハネ 3:15-16）、キリストのからだとしての召会（エペソ 1:22-23）、新エルサレム（啓 21:2, 10-11）です。
3. 現にある真理は、神聖な啓示の高嶺を含んでいます。この啓示とは、神が人と成ったのは、人が神格においてではなく、命と性質において神となって、キリストの有機的なからだを生み出し建造して、神のエコノミーを完成し、この時代を閉じ、キリストの再来をもたらして、彼の王国を設立するということです——ヨハネ 1:12-14. Iヨハネ 3:1-2. ローマ 8:3. 1:3-4. 12:4-5. 啓 11:15。

III. 「人の霊はエホバのともし火であり、内なる存在の最も深い部分をすべて探る」——箴 20:27：

A. 人の霊は、人の中にある神のともし火です——マタイ 25:1：

1. 人の再生された霊の中で輝いている光は、神ご自身です——Iヨハネ 1:5。
2. ともし火が光を内容とし、光を表現するのと同じように、人の霊が造られたのは、神を内容とし、神を表現するためでした。
3. 神聖な光が人の内側の各部分の中へと輝くために、油としての神の霊は、芯としての人の霊に浸潤し（とミングリングし）、人の霊と共に「燃え」なければなりません——ローマ 8:16. 12:11。
4. もしわたしたちが霊の輝きに応答するなら、わたしたちは霊にしたがって歩きます——ローマ 8:4。

B. 神の霊もまたともし火であり、彼の七倍に強化された輝きを持っています——啓

4:5 :

1. わたしたちの再生された霊は、神の霊によって内住されたともし火であり、神の霊もまたともし火です。
  2. 人の霊と神の霊は、両方ともともし火であり、共に人の内側の各部分を照らします——箴 20:27. 啓 4:5。
  3. 霊は、わたしたちの魂の各部分を照らすことを願います。
- C. わたしたちがわたしたちの霊を活用して正しく祈るとき、輝くともし火があります——エペソ 6:18. 1:17-18. 5:8-9 :
1. わたしたちが祈るとき、わたしたちの霊は輝くともし火として機能し、わたしたちの魂のすべての部分を探ります——箴 20:27。
  2. わたしたちは、わたしたちの霊を活用して祈れば祈るほど、ますます照らされます——Ⅱコリント 4:6 :
    - a. ともし火は、わたしたちの思い、感情、意志の上で輝くことができます。
    - b. わたしたちの内側の各部分は、主によって徹底的に探られます——詩 139:23-24。
  3. わたしたちはそのような祈りの後、明るく透明であると感じ、神で満たされていると感じます——エペソ 5:8-9。

**IV. 「何のものにもまさってあなたの心を見守れ. そこから命の流れが出てくるからである」——箴 4:23 :**

- A. 魂は、パースンそのものです。心は、行動するパースンです——ルカ 1:66. 2:19, 51. 使徒 11:23. エペソ 3:17. Ⅰテサロニケ 3:13 :
1. わたしたちの内なる存在の中には、わたしたちを代表するものがあります。そして、この代表するものは、わたしたちの心です——ルカ 6:45. ヨハネ 16:22. Ⅱコリント 3:16。
  2. わたしたちと神との関係は、まずわたしたちの心にかかっています。なぜなら、心は、わたしたちが自分自身を表現する器官であり、またわたしたちが物事を受け入れるか拒絶するかの決定をする器官であるからです——使徒 8:37. ローマ 10:9-10。
  3. わたしたちの霊は純粋なものですが、わたしたちの霊を通して表現されるものは、わたしたちの心にかかっています——Ⅱテサロニケ 2:17. 3:5。
- B. 心は、わたしたちの全存在に対する出入り口です——マタイ 13:19. 15:18-19 :
1. わたしたちの真の存在が出てくるのは、わたしたちの心を通してです。なぜなら、わたしたちの存在の行き来は、わたしたちの心を通してであるからです——ルカ 6:45。
  2. わたしたちの霊は、わたしたちの存在の源です。しかし、わたしたちの心は、通路、出入り口であって、わたしたちの存在の行き来は心を通してです——マタイ 12:34-35。
  3. 正しいクリスチャンになるために、わたしたちはわたしたちの霊を活用し、何のものにもまさってわたしたちの心を見守ることによって、わたしたちの心

を護衛する必要があります——箴 4:23。

C. 箴言第 4 章 23 節で「見守れ」と訳されたヘブル語は、「護衛する」を意味します：

1. わたしたちは、何のものにもまさってわたしたちの心を護衛すべきです。なぜなら、わたしたちの心から、命の流れが出てくるからです。
2. 箴言第 4 章 23 節の「流れ」は、源と泉と流れ出を暗示します：
  - a. 命の流れは、命の流れ出です——参照、ヨハネ 4:14。
  - b. 心は、命の源、命の泉、命の流れ出と関係があります——参照、イザヤ 12:3。
  - c. わたしたちであるもの（わたしたちの真の存在）の源泉、源は、わたしたちの心から流れ出ます——参照、ヨハネ 7:37-38。

D. わたしたちがわたしたちの心を護衛するのは、わたしたちの心を顧みることと、主の御前で命の道においてわたしたちの心を徹底的に対処することとによります。わたしたちは、わたしたちの心を対処すればするほど、ますますわたしたちの心を護衛します——詩 26:2. 139:23-24. 箴 4:23. ローマ 8:27. 啓 2:23. マタイ 13:18-23. 5:8。

E. わたしたちは神の建造のために命において成長するために、主を愛し、わたしたちの霊に注意を払い、何のものにもまさってわたしたちの心を護衛して、命の道にとどまる必要があります——I ペテロ 1:8. 2:2, 5. 3:4, 15. 箴 21:2. 4:18-23. 申 10:12. マルコ 12:30。

#### V. 「愛はすべての違反を覆う」——箴 10:12 後半：

A. 「違反を覆う者は愛を求める。しかし、事を繰り返す者は親しい友を離れさせる」——箴 17:9。

B. 覆うことは愛です。暴露することは、愛ではありません——ヤコブ 5:20。

C. 覆うことは祝福をもたらします。しかし、暴露することは、のろいをもたらします——創 9:22-27：

1. 他の人たちを暴露する人たちは、のろいを被ります。
2. 他の人たちの罪、欠点、短所を覆う人たちは、祝福を享受し、獲得し、受けます。

D. 愛は「すべてを覆い」（I コリント 13:7 前半）、良い事を覆うだけでなく、悪い事も覆います：

1. 「長老たちは認識する必要がありますが、牧養するときに彼らは他の人たちの罪を覆わなければならない、他の人たちの悪を数えたててはなりません」——「バイタルグループ、メッセージ 8」：
  - a. 「召会の肢体たちの欠点、短所、罪を暴露する者はすべて、長老となる資格がありません」——「バイタルグループ、メッセージ 8」。
  - b. 「わたしたちの長老職の下にいる、わたしたちの牧養の下にいる肢体たちを暴露することは、わたしたちの資格を無にします」——「バイタルグループ、メッセージ 8」。
2. わたしたちは、神にしたがって人を牧養し、すべての違反を覆う愛を持つ必

要があります—— I ペテロ 5:2. 箴 10:12 後半。  
E. 「何よりもまず、あなたがた自身の間で熱い愛を保ちなさい。なぜなら、愛は多くの罪を覆うからです」—— I ペテロ 4:8。

©2020 *Living Stream Ministry*